

伊高RenovationとPTA

伊集院高等学校



校舎遠景（正門付近から）

本校は令和6年に創立100周年を迎えました。本校の歴史は大正12年の旧制伊集院中学校開校に始まります。その後、新学制に伴い昭和24年に男女共学の伊集院高校が発足し、現在に至ります。これまで約三万四千人の方々が本校を卒業して、国内外で活躍しています。現在生徒たちは、校訓の「自律・忍耐・友愛・公德」とスクールポリシーの「伊高3K 気づき・考え・行動する」を踏まえ、様々な教育活動を通して、明るく伸びやかに成長する姿を見せています。

平成23年の学区再編（旧置学区から鹿児島学区へ変更）に伴い、鹿児島市在住の生徒の入学者が増え始め、今では全校生徒の約4割となっています。創立100周年の伝統校ではありますが、進取の精神で新しい伊集院高校を目指しています。

伊高Renovation

「単元テスト」、「2学期制」、「二人担任制」、「頭髪服装指導廃止」、「制服再編」は本校の特色ある取組の一例です。生徒が短いスパンで計画的に勉強しやすい「単元テスト」、年間総授業時間が増えつつも、秋休みがあり生徒に好評の「2学期制」、生徒が相談しやすく、教員の業務改善にもつながる「二人担任制」、生徒の自律心・多様性意識醸成に有用な「頭髪服装指導廃止」、「制服再編」など、伝統に甘えることなく様々な取組に挑戦中、まさに伊高Renovationです。変化の大きいこの時代に、あらためて進取の精神を強く意識し、教育界の潮流に取り残されない学校を目指しているところで

ゆすの時間

本校では、総合的な探究の時間を「ゆすの時間」と呼んでいます。令和5年度から、その学習発表会を日置市文化会館にて一般公開で開催しています。

「ゆす」は「伊集院」の地名の由来とも言われる樹木です。1年次は地元日置市についての課題を発見し、解決する力を身につけることを目指して探究します。生徒・職員ともに「地域に貢献し、地域を盛り上げる伊集院高校」であり続ける方法を探究したいと考えています。

PTA活動について

伊集院高校PTAは、PTA会長を中心に、研修部、生活指導部、保健体育部、文化部を設けて活動しています。

研修部は、年2回のPTA新聞発行、県内上級学校への研修視察を実施しました。研修視察の令和6年度訪問先は、鹿児島医療技術専門学校、志学館大学、鹿児島県立短期大学でした。

生活指導部は、地域の生活指導連絡協議会には出席しましたが、以前行っていた地域行事等の見回りについては、コロナ禍をきっかけに活動の見直しを図っているところです。

保健体育部は、年2回の学校保健委員会への出席の他、妙円寺走歩大会の際の給水活動等を行いました。

令和6年度の妙円寺走歩大会は、創立100周年記念ゲストとして、鹿児島マラソンや県下一周駅伝で活躍

中の飛松佑輔さんと、箱根駅伝に出走経験のある本校OBの田口哲さんをお招きし、生徒たちは名ランナーと一緒に走ることができました。

文化部は文化祭時のOBバザー補助と駐車場誘導等を行いました。令和6年度文化祭は100周年記念として、14店舗からなるOBバザーが行われました。OB・生徒・PTAが一体となり、かつて伊高のソウルフードといわれた「野菜パン」や学校近くにある「焼き肉ばるばる」の焼き肉弁当「はバザー開始数分で完売するなど、大盛況となりました。

いずれの活動もPTAの協力を得て充実したものとなりました。今後、良さは残しつつ、改めるべきを改めながら、時代の変化に対応したしなやかなPTA活動を推進したいと考えています。

（教頭 切手 浩隆）



100周年記念式典で旧制伊集院中の校歌を斉唱する生徒たち